

「市長との座談会」 市民の皆様からの質問や意見交換などの要約

日時 令和元年8月29日（木）午後7時から

会場 七谷コミュニティセンター大広間

初めに藤田加茂市長が「令和元年度行財政健全化の取り組みについて」を、五十嵐副市長が「洪水ハザードマップについて」を説明し、参加した皆さんとの質疑応答がありました。

その後は、皆さんからの自由な意見交換を行いました。

令和元年度行財政健全化の取り組みについて

（質問・意見） 市長以下三役（市長、副市長、教育長）は給与を減額したが、市議会議員の報酬は？改選期に人口数に見合う議員数の削減は？

（市長） 議会に関しては議員発案で採決して出来る。何も変わらないわけではないと思う。

（質問・意見） 市民バスの利用者が少ない。効率化やバスの小型化など考えているのか？また、美人の湯のバスは送迎が無料だが、費用負担を求めているのか？

（市長） 市民バスは本数の見直しやデマンドバス等考えていきたい。財政健全化プロジェクトチーム（PT）の俎上にあがっている。美人の湯のバスも含め、来年度以降の対応となる。

（質問・意見） 小中学校の体育館冷暖房設備工事を中止したが、中止しても夏は暑いとスクールバスで市内体育施設へ行く。結局バスの運行経費等は掛かる。

（市長） 財政が苦しくて冷暖房付けられない。学校の体育館以外で体育の授業に活用できる場所があれば活用していく。

（総務課長） 部活のための移動手段としてはスクールバスを考えている。また、部活の在り方についても検討中。

（教育長） 今、部活動は各学校の校長の裁量で行っている。基本になるのは県の方針。生徒、保護者、学校の先生などから意見を聞いて市の方針・ガイドラインを検討して出したい。

（質問・意見） 経費削減だが、削減の他に収入になるものの確保も大事。市内コミセンの100円風呂は200円でも良い。美人の湯のバスは市外の利用者でも送迎可能だが、他市の入浴施設は市外への送迎は断られる。

（市長） 美人の湯集客イベント、ふるさと納税等収入増を考える。

（質問・意見） 税収減。外から人を集める方策。他市では都会からの移住を聞く。地域おこし協力隊の活用は？

（市長） 手段としては良い。県外へのアピール必要。考えている。

(質問・意見) 第四平成園について。民間の力を入れる考えは？

(市長) これまでは拒んできた。私は拒まない。受けるサービスが増えた方が市民のためになる。

(質問・意見) 1) 加茂は田舎。田舎には田舎のまちづくりが必要。都会の人は田舎に「田舎」を求めに来る。

2) シルバー人材センターへの金額削減できるはず。

3) 市民バス廃止しないで。

(市長) 田舎の良さを活かしたまちづくりを考える。市民バスは著しく不便になる事がないよう考える。シルバー人材センターの件は調査したい。

(副市長) シルバー人材センターの件はこれから俎上へ上げる。シルバー人材センターだけでなく、補助金は削れる所は削る。それは市民の意見を聞きながらになる。市民バスは、急変はしない。

(質問・意見) 子ども(成人)が障害を持っているが、相談員が居ない。加茂に居ないため三条へ行っている。加茂に設置は？

(市長) 課題は認識している。整えるために動き出すところ。市内事業所に相談員はいるが、相談員の人数も事業所も足りない。計画を立ててすすめる。

(質問・意見) 1) 収支のバランス。例えばウィーン少年合唱団は超満員だった。加茂は良い施設が多いので、それを活かして収入を得る。

2) 人口増は期待できない。ならせめて人口減への対策を。

3) 公約でふるさと納税があった。収入増の施策は他にある？

(市長) 来年度以降は収入増やす施策を行っていく。

(企画財政課長) 文化会館の自主事業は若干の持ち出しはある。

(質問・意見) 市長が変わってから職員の態度が悪い。

(市長) 気付いたら教えてほしい。

洪水ハザードマップについて

(質問・意見) 上高柳～小乙等の線、水道管破裂で国道が封鎖されたことがある。その日は通勤にかなり迂回した。上高柳の道の整備を。

(建設課長) 全て行くと大変な事業となる。現実には難しい。

(質問・意見) ハザードマップ。要支援者への避難の周知はどうやって行うのか。

(副市長) 要支援者の名簿は作成し、消防と共有している。また、民生委員と連携する体制になっているが、地域で温度差がある。市側も今までは他市と違う避難指示の仕方もあった。これからは空振りあるかもしれないが、基準を決めて自動的に勧告、指示を出す。

(市長) 要支援者の平時の訓練を民生委員・区長と協力して行っていきたい。

(質問・意見) ハザードマップの水位について。

(市長) 1) 数字の見方

2) 七谷は水だけが流れてくるわけではない。土砂については？

(副市長) 1) 水位の数字は「海拔」。黒水は川幅が狭いため、レベル1からレベル5までの数値の間が狭い。

2) 山際の家では土砂災害警戒情報も見ないといけない。七谷は特に。

(質問・意見) 避難場所。

1) 七谷では黒水が比較的人口が多い。避難できる場所を確保してほしい。

2) 善作茶屋あたりの川幅広げるか、掘り下げるかしてほしい。

(建設課長) ハザードマップに基づいて川の整備をするわけではない。

(副市長) 1) 大船渡では想定してもダメだった。信濃川は150年、加茂川は100年、下条川は70年に1度の大雨に耐えうるよう整備している。

2) 加茂川(1級河川)は新潟県が管理しているので、新潟県に要望していきたい。

(質問・意見) 七谷コミセンが「区分」×なのは？

(副市長) 水害に対して、ということ。また、すべての避難所に備蓄があるわけではないが、すぐ持っていく段取りになっている。

(質問・意見) 避難判断水位で既に孤立したことがあった。その前に物資運搬を。

(副市長) 発災直後は運搬が難しい。個人で備蓄をお願いしたい。

(質問・意見) 雪で停電した場合は？

(副市長) 以前事例があった際、区長と相談した。「七谷の家はみんな石油ストーブあるから停電しても暖は取れる」という話だった。

(総務課長) 避難情報が出たら避難所開設することになる。今までは電源のルートが1系統だけだったが、今電源ルートの複線化を進めている。

(質問・意見) 倉川。ハザードマップに載っていないが、あふれると大変。載せてほしい。

(副市長) 把握に努めます。

(質問・意見) 旧290号線。大雨が降るとすぐ川になる。

(建設課長) 後で詳しく教えてほしい

質問・意見交換

(質問・意見) 1) サルの被害が後を絶たない。何か良い対策はないか。

2) 黒水ー土倉線を広げてほしい。

(農林課) 1) 被害を把握できていない。現状以上の対策があったら教えてほしい。

(建設課長) 2) 必要性は認識している。

(質問・意見) 八幡の桜。枝切が不十分。根も道路を破損している。

(建設課長) 後日相談。

(質問・意見) 山間地サポートをやってほしい。

(企画財政課長) 地域づくりサポートは「七谷を元気にする会」が対象。

(質問・意見) 「七谷を元気にする会」を知らなかった。広報をしてほしい(当該会への要望)。

→広報かも お知らせ版(9/1)に掲載。

(質問・意見) 美人の湯シャトルバス。上土倉がルートに入っていない。10人集まれば送迎してもらえるが、集まらないこともある。ルートに組んでほしい。

(総務課長) 七谷区長会で議論していただきたい。そこでの意見からルートを作れると思う。

(質問・意見) 多面的機能施策交付金(農水省)を受けたい場合はどこへ申請するのか?

(農林課) 既にいくつかの団体が市内にある。農林課に相談してほしい。

(質問・意見) 1) 七谷は「山、川、星」が良い。それらを大事にした地域づくりを。

2) 耕作放棄地が多い。

3) 精神障害者への支援が少ない。グループホームを造ったりすることが出来ない。長岡の病院に入院していた人が退院しても、加茂に戻って来られない。

4) ボランティアを活用してほしい。

(市長) 七谷には宝がたくさんある。これらを活かしていきたい。耕作放棄地は早めに手を打つ。障害者支援が不十分なのは認識している。支援が行き渡るようにしたい。知恵を貸してほしい。ボランティアも活用していきたい。

(質問・意見) 過去の水害データについて、同一箇所のを統一的に分析してほしい。

(副市長) 水害予測にとってそういった分析は重要。

※質問や意見交換のときに、一部聞き取れなかった部分もありました。ご了承ください。